

「道徳の時間」学習指導案

呉市立阿賀中学校

指導者 田口 芳美

- 1 学年 第2学年1組（男子17名 女子21名 計38名）
- 2 主題名 思いやりの心 2－（2）
- 3 本時のねらい 職員みんながなぜ「オー」という声をあげたり、拍手したりしたのかを考えることを通して、思いやりの根底にある人間への深い理解と共感に気づき、人間愛に満ちた道徳的心情を育てる。
- 4 資料名 「月明かりで見送った夜汽車」
（出典「中学生の道徳3 自分をのばす」廣済堂あかつき）

5 主題設定の理由

- 本主題は、中学校の内容項目2－（2）「温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもつ。」をもとに設定したものである。また、本中学校区の研究主題「礼節を踏まえ、よりよい人間関係をつくる力を育成する道徳教育の創造－思いやりの心もち、集団や社会の一員としての所属意識を高める実践を通して－」に基づいて設定したものである。思いやりとは、相手にとってどのようなことが望ましいことかをふまえて行動することである。それは社会に生きる人間としてもっとも大切な心情であり、この思いさえあればその人は豊かな人生を送れるだろう。だが、最近では、自分にとってよいことを第一に考える人が多くなってきた。思いやりが減っていただけ感謝の心も少なくなり、いよいよ世の中はぎすぎすしてくる。重要な人格形成期にある中学生たちに、思いやりが人とのかかわりの中で欠かすことのできない心であることに気づかせ、その美しさをたえぬ気持ちを持たせることが大切である。
- 本学級の生徒は、学校・学級生活の中で、人とのかかわりを少なからず意識し、思いやりのある行動をとろうと日々努めている。道徳教育に関するアンケート（7月調査）で、「人には親切にした」との肯定的回答が100%、「人が困っている時は、進んで助けている」が91%といずれも高い。しかし、実際には、他人が思いやりに欠けた言動をとると腹を立てるが、自分は他人のことに無関心というような生徒や、他者からの思いやりばかりを求め、自身は自己中心的な生徒もいる。もちろん、たえず他者への配慮を忘れない生徒もいるが、どちらかというとな少数である。中学生は、非常に多感な時期にあり、人としてよりよく生きたいという願いは持ちながらも、人の目を気にしたり、考えが軽薄だったりして実行が伴わないことも多い。そのせいか、施すよりも求める心が強い傾向にあると考える。思い、思われる人と人とのぬくもりに触れ、自分もそのような心をもつ人になりたいと感じさせることが大切であると考え。
- 資料「月明かりで見送った夜汽車」は、人の思いやりというものをしみじみと味わうことのできる資料である。職員総がかりで翌日の文化祭の準備に忙しいある小学校が舞台となっている。国体に参加するため中座したI先生は皆に申し訳なく思いながら駅へ向かう。学校脇を通る線路にI先生を乗せた夜汽車がさしかかろうという時間、学年主任のY先生の計らいで、職員は作業を中断し学校のブレーカーを落として真っ暗にした中、全員で夜汽車を見送るという話である。思いやる人と、それを受ける人と、その双方向のあたたかい気持ちというものが、読む人の心にぬくもりを与

えてくれる資料である。

指導に当たっては、資料自体がもつ良さを十分に味わえるよう、教師が発問をよく吟味し、精選して行いたい。また、展開の前段では、I先生とY先生のやりとりをペアでの役割読みにより、両者の状況や心情を考えることで、思いやる心の双方向性に気づかせたい。さらに、中心発問で、I先生を思いやる心はY先生だけではなく、職員皆がもっていたことを捉えさせたい。そして、本授業を通して、思いやりが人とのかかわりの中で欠かすことのできない心であることに気づかせていきたい。終末では、本資料の余韻を大切にするため、補助資料である「思いやりは双方向」という吉川英治氏の言葉を範読するにとどめ、教師が多くを語らないようにする。その後、本時の感想や気づきを文章化させることで心の整理をさせたい。

6 体験活動と道徳教育

体験活動と道徳教育				
学年	第2学年		期間	8月～12月
ねらい	道徳の時間に、日頃の活動を振り返りながら、相手のことを考え礼儀正しく接しようとする態度を養い、他の人々に対し思いやりの心をもととする心情を育てる。 その態度や心情を様々な学習活動や日常生活につなげ、よりよい人間関係を築く。			
期待する生徒の姿	他の人々に対し思いやりの心を持ち、よりよい人間関係を築こうとする生徒			
時期	教科・特別活動・総合的な学習の時間	道徳の時間	常時活動・小中連携 家庭や地域との連携	生徒の意識の流れ
8月	○総合的な学習の時間 「生き方学習Ⅱ」 「呉市キャリアスタートウィーク」 地域への貢献を意識し、それぞれの事業所で、礼儀正しく、仕事を体験させてもらいながら、人間関係形成能力を高めることができる。	○道徳 よりよい社会の実現 4－(2) 「地下鉄で」 「少女たちのなかにある美しさ」を考慮することを通して、よりよい社会の実現は一人ひとりの行動によって成り立つことを知り、積極的にかかわろうとする道徳的实践意欲を培う。	○家庭・地域 「呉市キャリアスタートウィーク」 5日間家庭から、地域の事業所へ出向き、活動を最後までやりきる。	○5日間大変だったけど、最後まで頑張れたのでよかった。事業所の方、ありがとうございます。
9月				
10月	○学校行事（旅行・集団宿泊的行事） 「校外学習」 ○総合的な学習の時間 「生き方学習Ⅱ」 班で考えた計画に基づき、協力し合って、広島市内を班別自主研修することができる。	○道徳 思いやりの心 2－(2) 「月明かりで見送った夜汽車」 職員みんながなぜ「オー」という声をあげたり、拍手したりしたのかを考えることを通して、思いやりの根底にある人間への深い理解と共感に気づき、人間愛に満ちた道徳的心情を育てる。	○小中連携 「小中合同挨拶運動」 小学生と一緒に、小学校の正門で気持ちの良い挨拶を行う。	○小学生の手本になるようなさわやかな挨拶をしよう。
11月	○学校行事（文化的行事） 「文化発表会・合唱コンクール」 仲間と協力・団結して、合唱を創り上げていくことができる。		○道徳 思いやる心 2－(2) 「最後の年越しそば」 父親の生き方に感動する筆者の心情を考慮することを通して、他を思いやる心を持ち、人間的交わりを深めようとする道徳的心情を育てる。	○常時活動 「7人の達人」 あいさつや笑顔など何かで達人になれるよう日々取り組む。
12月	○学級活動 「2学期の振り返り」 2学期を振り返って、自己を省み、人とのかかわりはどうだったか考えることができる。			
温かい人間愛の精神を深め、他の人々に対し思いやりの心をもとう。				

7 本時の展開

	学習活動	主な発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点 ※評価
導入	1 教師の話聞く。	○ 今日は、ぜひみんなと読みたいお話があります。一緒に考えてみよう。	○ 簡単な導入で展開に進む。
展開 前 段	2 資料を読む。 3 I先生の人柄を捉え、思いやりの双方向性について考える。	○ <u>「とても申し訳ない」と言ったI先生の胸中を考えてみよう。</u> ・最後まで手伝えなくてみんなに悪い。 ・まだ終わっていないのに、出さなければならぬ。 ○ <u>「あと一息だ」と言ったY先生の思いを考えてみよう。</u> ・I先生を安心させたい。 ・I先生に申し訳ないと思わせたいようにしよう。 ◎ <u>みんなは、なぜ「オー」という声をあげ、「拍手」したのだろう。</u>	○ 読後の余韻を大切に。 ○ 両者の状況や思いを、ペアでの役割読みを通して考えることで、思いやる心の双方向性に気づかせる。 ○ I先生とその他の先生が、普段から互いを思いやる心で強くつながっているからこそ、このような状況になることを押さえる。
		<p>予想される生徒の反応</p> <p>ア Y先生が電気を消したから。 イ Y先生のI先生に対する思いやりがかっこいいから。 ウ Y先生がしたこと、みんなの心があたたかくなったから。</p> <p>◇ Y先生やI先生だけでなく、すべての人のあたたかい心を捉えさせる。 ・飾り付けを中断して、電気を消すことに大賛成！ ・I先生、作業のことはいいから、安心して行ってください。 →思いやりのある人間関係は、すばらしい場（集団）を作る</p>	<p>それに対する問い返し</p> <p>■ 「電気を消したことやY先生だけがすごいのか。」「他のみんなはY先生と同じ気持ちをもっていなかったのか。」等を問い返し、人間のよさを感じての歓声や拍手だったことを押さえる。</p>

展開後段	4 「思いやり」の気持ちの美しさ、あたたかさを実感する。	<p>○ <u>夜汽車が通るとき、胸がジンとしてきたのはどうしてだろう。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人ってあたたかい。 ・互いに思いあえる人々のぬくもりに感動した。 	○ あたたかい心をもっている人たちの中で、しみじみとそのよさを感じる筆者を捉えさせる。
終末	5 「思いやりは双方向」を読む。 6 感想を書く。	○ <u>この時間に感じたこと、考えたことを書いてみよう。</u>	<p>○ 吉川英治の言葉を範読する。</p> <p>○ 互いに思いやる心について考え、ワークシートにまとめさせる。</p> <p>※ 思いやりは人とのかかわりや社会において、欠かすことのできない大切なものであるということに気づいた記述がある。(ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分もおもいやりの心をもつ人になって、あたたかい集団(社会)にしたい等

8 板書計画

